



安全データシート

<p>1. 製品及び 会社情報</p>	<p>ステンレス鋼材[鉛添加除く]</p> <p>会社名 愛知製鋼株式会社</p> <p>住所 愛知県東海市荒尾町ワノ割1番地</p> <p>担当部署 品質保証部 お客様品質・技術室</p> <p>電話番号 052-603-9363 FAX 番号 052-603-9386</p> <p>緊急連絡先および電話番号 同上</p> <p>作成・改訂 2015年4月7日改訂</p>
<p>2. 危険有害性の要約 <GHS分類></p> <p><ラベル要素></p> <p><注意書き></p>	<p>健康に対する有害性</p> <p>呼吸器感作性 区分1</p> <p>皮膚感作性 区分1</p> <p>発がん性 区分2</p> <p>生殖毒性 区分2</p> <p>特定標的臓器・全身毒性 区分3(気道刺激性) (単回ばく露)</p> <p>特定標的臓器・全身毒性 区分1(呼吸器) (反復ばく露)</p> <p>※上記に記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外、または分類できない。</p> <p>絵表示又はシンボル</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>注意喚起語 危険、警告</p> <p>危険有害性情報</p> <p>吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ</p> <p>アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ</p> <p>発がんのおそれの疑い</p> <p>生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い</p> <p>呼吸器、神経系、腎臓、肝臓、心臓の障害</p> <p>呼吸器への刺激のおそれ</p> <p>長期又は反復ばく露による呼吸器の障害</p> <p>長期的影響により有害のおそれ</p> <p>安全対策</p> <p>必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。</p> <p>適切な保護手袋を着用すること。</p> <p>換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。</p> <p>粉じん、ヒュームの吸入を避けること。</p> <p>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。</p> <p>取り扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>環境への放出を避けること。</p>

	<p>応急措置</p> <p>吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。</p> <p>気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。</p> <p>汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p> <p>汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。</p> <p>皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。</p> <p>皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。</p> <p>ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。</p> <p>漏出物は回収すること。</p> <p>保管(貯蔵)</p> <p>施錠等を施し、適切に保管すること。</p> <p>廃棄</p> <p>内容物や容器を、国際、国、都道府県、又は、市町村の規則に従って廃棄すること。</p>																																																																	
<p>3. 組成及び 成分情報</p>	<p>単体／混合物区分 混合物(鉄を主成分とした合金)</p> <p>鉄以外の主な成分</p> <table border="1" data-bbox="550 840 1484 1355"> <thead> <tr> <th>成分</th> <th>濃度[%]1)</th> <th>CAS番号</th> <th>労働安全衛生法 政令番号</th> <th>PRTR法 種別-政令番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炭素 [C]</td> <td>1.20 以下</td> <td>7440-44-0</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ケイ素 [Si]</td> <td>5.00 以下</td> <td>7440-21-3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>マンガン [Mn] 2)</td> <td>10.00 以下</td> <td>7439-96-5</td> <td>550</td> <td>1種-412</td> </tr> <tr> <td>リン [P]</td> <td>0.20 以下</td> <td>7723-14-0</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>硫黄 [S]</td> <td>0.50 以下</td> <td>7704-34-9</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ニッケル [Ni] 2)</td> <td>28.00 以下</td> <td>7440-02-0</td> <td>418</td> <td>1種-308</td> </tr> <tr> <td>クロム [Cr] 2)</td> <td>28.00 以下</td> <td>7440-47-3</td> <td>142</td> <td>1種-87</td> </tr> <tr> <td>モリブデン [Mo] 2)</td> <td>7.00 以下</td> <td>7439-98-7</td> <td>603</td> <td>1種-453</td> </tr> <tr> <td>銅 [Cu] 2)</td> <td>5.00 以下</td> <td>7440-50-8</td> <td>379</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>タングステン [W] 2)</td> <td>0.07 以下</td> <td>7440-33-7</td> <td>337</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コバルト [Co] 3)</td> <td>1.0 以下</td> <td>7440-48-4</td> <td>172</td> <td>1種-132</td> </tr> <tr> <td>バナジウム [V]</td> <td>0.35 以下</td> <td>7440-62-2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>1)製品組成の詳細については、製品の規格または検査証明書で確認してください。</p> <p>2)労働安全衛生法の通知対象物質</p> <p>3)労働安全衛生法の表示対象物質</p>	成分	濃度[%]1)	CAS番号	労働安全衛生法 政令番号	PRTR法 種別-政令番号	炭素 [C]	1.20 以下	7440-44-0	—	—	ケイ素 [Si]	5.00 以下	7440-21-3	—	—	マンガン [Mn] 2)	10.00 以下	7439-96-5	550	1種-412	リン [P]	0.20 以下	7723-14-0	—	—	硫黄 [S]	0.50 以下	7704-34-9	—	—	ニッケル [Ni] 2)	28.00 以下	7440-02-0	418	1種-308	クロム [Cr] 2)	28.00 以下	7440-47-3	142	1種-87	モリブデン [Mo] 2)	7.00 以下	7439-98-7	603	1種-453	銅 [Cu] 2)	5.00 以下	7440-50-8	379	—	タングステン [W] 2)	0.07 以下	7440-33-7	337	—	コバルト [Co] 3)	1.0 以下	7440-48-4	172	1種-132	バナジウム [V]	0.35 以下	7440-62-2	—	—
成分	濃度[%]1)	CAS番号	労働安全衛生法 政令番号	PRTR法 種別-政令番号																																																														
炭素 [C]	1.20 以下	7440-44-0	—	—																																																														
ケイ素 [Si]	5.00 以下	7440-21-3	—	—																																																														
マンガン [Mn] 2)	10.00 以下	7439-96-5	550	1種-412																																																														
リン [P]	0.20 以下	7723-14-0	—	—																																																														
硫黄 [S]	0.50 以下	7704-34-9	—	—																																																														
ニッケル [Ni] 2)	28.00 以下	7440-02-0	418	1種-308																																																														
クロム [Cr] 2)	28.00 以下	7440-47-3	142	1種-87																																																														
モリブデン [Mo] 2)	7.00 以下	7439-98-7	603	1種-453																																																														
銅 [Cu] 2)	5.00 以下	7440-50-8	379	—																																																														
タングステン [W] 2)	0.07 以下	7440-33-7	337	—																																																														
コバルト [Co] 3)	1.0 以下	7440-48-4	172	1種-132																																																														
バナジウム [V]	0.35 以下	7440-62-2	—	—																																																														
<p>4. 応急措置</p>	<p>必要な応急措置の後、必要に応じて医師の診断を受ける。下記は応急措置の例である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューム等により呼吸困難を起こした場合は、呼吸補助をし速やかに医師の診断を受ける。 ・アーク等により火傷した場合は、患部を冷やし、必要に応じて医師の手当てを受ける。 ・ヒューム、微粉等が目他の粘膜を刺激する場合は、水で洗い流し、速やかに医師の診断を受ける。 ・鋼材切断端面および切削屑等で皮膚を傷つけた場合は、傷口の清潔を保ち、必要に応じて医師の手当てを受ける。 																																																																	
<p>5. 火災時の措置</p>	<p>この措置は、鋼材の微粉末が乾燥状態または油と一緒に堆積している状態を示す。</p> <p>消火方法: 金属火災用粉末消火剤を使用。ない場合は乾燥砂でも可。</p> <p>水を直接かけてはならない。水蒸気爆発の危険性がある。</p> <p>但し、まだ燃えてないところに水をかけて周囲の温度下げることが問題ない。</p> <p>消火剤: 粉末消火剤、乾燥砂</p>																																																																	

6. 漏出時の措置	一般的な環境では、個体であるため漏出ししない。
7. 取り扱いおよび保管上の注意	<p>・本製品を加熱、溶融、研磨等の加工等を行い、粉じん・ヒューム形態の金属及び金属化合物等が生じる場合は、成分元素に関わる暴露限界以上の粉じん・ヒューム等の影響を受けないように、衣服や顔面等の適切な保護や、換気措置をすること。(例えば、成分元素のMn化合物ヒュームは吸入、経口吸入による急性及び慢性中毒が認められるためである。)なお、暴露限界値については「日本産業衛生学会勧告値」や「ACGIH:米国産業衛生専門家会議勧告値」等が適切である。</p> <p>・粉じん・ヒューム等の収集物については、その形態に応じた危険・有害性を確認のこと。(例えば、粉体状になっている場合、燃焼・爆発性を有する可能性があること 粉じん等に労働者の身体がばく露される場合、発がんのおそれがあること 等)</p> <p>・本製品を酸洗、脱スケール等の処理を行い金属が溶解する場合は、溶解物質に接触したり、吸引等をしないように対応すること。</p> <p>・不必要な水漏れ・酸との接触、高温多湿の環境を避けること。</p> <p>・コイル製品の場合には、結束フープ(バンド)の切除時に、コイル端部が跳ね上がる可能性があるため安全に留意すること。</p> <p>・保管する上で通常の状態では、危険・有害性の面で該当事項はない。</p>
8. 暴露防止措置	<p>設備対策: 鋼材のガスカット、溶接等でヒュームが発生する場合に環境基準を超えるものは局所換気装置の使用が望ましい。Pb, Te, Seの快削成分を含有する場合は切削加工時に微量の蒸発がある可能性がある為、フード等を付けカバーするのが望ましい。</p> <p>保護具: 鋼材のガスカット、溶接等でヒュームが発生する場合は、呼吸用保護具を着用する。</p>
9. 物理的および化学的性質	<p>外 観: 特殊鋼鋼材(固体)</p> <p>融 点: 1450~1535°C</p> <p>密 度: 7.64~8.06 g/cm³</p>
10. 安全性・反応性	<p>可 燃 性: 微粉鉄状態で火気に投入すると、激しく燃焼する。</p> <p>発 火 性: 室温では自然発火性なし。</p> <p>粉塵爆発性: 微粉鉄は空気中で爆発性粉塵を形成する。</p>
11. 有害性情報	<p>鋼材としては現在のところ人に対しての有害性に関わる有用な疫学的情報なし。</p> <p>但し、粉じん等に労働者の身体が暴露される場合、発がん等の恐れあり。</p>
12. 環境影響情報	現在のところ環境影響に関する有用な情報なし。
13. 廃棄上の注意	基本的に法的に許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。付着物質等がある場合にはこの点も留意する。
14. 輸送上の注意	重量物である場合には、転倒、転がり、荷崩れ等のないようにする。
15. 適用法令	<p>PRTR法: 鋼材、スクラップは対象外、ただし酸洗等で溶解を伴う場合は適用</p> <p>消防法: 微粉鉄の場合は可燃性固体(危険物第2類)に該当</p>
16. その他の情報	<p>記載内容以外の特異な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、加工願います。</p> <p>本データシートは日本工業規格Z7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」(以下「JIS」という)に準じて作成されており、用語の定義は、JISに従っています。</p>

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。